



富山医療圏初 そけいヘルニアセンター開設のお知らせ

外科

宮下 知治



このたび当院では、富山医療圏で初となる「そけいヘルニアセンター」を開設いたしました。そけい（鼠径）ヘルニアは、腹部の鼠径部（足のつけ根）の筋膜の隙間から腸などの臓器が体外へ飛び出してくる疾患で、いわゆる「脱腸」として広く知られています。加齢変性を背景とした高齢男性に多くみられ、近年では高齢化社会の進行に伴い潜在的な患者数は25～30万人にのぼると推測されています。そけいヘルニアは命に直結する病気ではないものの、放置すれば嵌頓（かんとん）などのリスクを伴い、緊急手術が必要となる場合もあります。治療の基本は外科的手術であり、適切なタイミングでの診断と計画的な手術が重要となります。

当センターは、経験豊富な外科専門医・内視鏡外科学会技術認定医・ヘルニア学会鼠径部ヘルニア修得医および泌尿器科・麻酔科専門医、看護師などで構成される専門診療体制を整え、診断から治療、術後フォローアップまでを一貫して行う「パシエントジャーニー（患者の診療の流れ）」を意識した医療を提供いたします。これにより、患者さまは初診時から安心して治療に臨むことができ、必要以上の通院や待機期間の短縮にもつながります。さらに患者さま一人ひとりの全身状態やヘルニアの種類によって適切な手術法を選択し、体への負担を最小限にする低侵襲手術（腹腔鏡による手術）を積極的に行い、早期の社会復帰を目指します。また将来的には口

ボット支援下鼠径部ヘルニア修復術の導入も予定しています。

地域医療との連携にも注力しており、かかりつけ医の先生方からの紹介を積極的に受け入れ、診療後には速やかに経過報告を行います。術後のフォローアップについても、地域の先生方と情報を共有しながら進めてまいります。

患者さまにとっても、医療従事者にとっても「選ばれるセンター」となることを目指し、今後も質の高い医療の提供に努めてまいります。本センターの開設を通じて、地域の皆さまがより身近に、安心して専門的な医療を受けられる環境づくりを進めてまいりますので、ご紹介・ご相談など、お気軽にご連絡いただければ幸いです。



研修・講演・学習会のご案内

1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

日 時：7月8日（火） 19：00～20：00 場 所：当院3階 講堂

1）症例検討

『早期アルツハイマー病への抗A β 抗体療法』

脳神経内科 田中 快

2）ミニレクチャー

『口は災いの元！？ 口腔細胞診の基本』

歯科口腔外科 野口 映

口腔がんの90%は扁平上皮癌である。口腔扁平上皮癌は、局所進行症例、あるいは頸部リンパ節転移症例では治療成績が悪く、根治的な治療が困難となる場合も多い。つまり、器官温存、生命予後の観点から、早期発見、早期診断が重要となる。一方、初期症例では、臨床像が前癌病変などの口腔粘膜疾患と類似しており、鑑別が容易ではないというジレンマがある。組織生検が最も確実な診断方法であるが、頻回なスクリーニングに適していない。私は、口腔粘膜疾患の診断の一助として、口腔細胞診を積極的に応用してきた。

口腔細胞診はこれまで一部の口腔細胞診専門家や臨床医が限定的に実施する特別な分野であった。しかしながら、近年、Liquid-Based Cytology法（LBC法、液化検体細胞診法）の浸透を契機に深く理解されはじめてきたように思う。口腔細胞診は細胞所見から収集できる情報が多いうえ、細胞採取に際して侵襲が極めて少ないという特徴を持つ。本発表では、当院で経験した症例を交え、口腔細胞診の有用性について概説したい。

予告

※8月の地域連携症例検討会の開催はありません。

9月の予定は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

日 時：9月9日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場 所：当院3階 講堂

内 容：①症例検討 1例（担当）形成外科

②ミニレクチャー 1題（担当）血液内科

2. ダイアベティス研究会（旧：糖尿病研究会）

日 時：令和7年7月17日（木） 17：30～18：45

場 所：当院3階 講堂

テーマ：糖尿病とは 最新の動向

「糖尿病診断、治療の動向と将来像」

講 師：内科 得能 翔太医師



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

栄養科の紹介

管理栄養士7名が在籍する栄養科では、主に入院・外来患者の栄養管理業務に携わっています。病棟業務では、栄養食事指導や食事形態の調整、経腸栄養のプランニングなどを行っています。また、全ての入院患者さんの栄養評価を行い、低栄養の恐れがある場合は栄養サポートチーム（以下、NST）などの医療チームへ繋げ、多職種で栄養状態の改善に努めています。

当科の特色ある事業として、食や栄養面での地域連携を積極的に行っています。2015年度から開催している「食に関する情報交換会」は、地域の後方医療機関や施設に勤務されているスタッフの方を対象に、様々な情報を交換できる場として毎年好評を得ています。今年度も秋頃の開催を予定していますので、多数のご参加をお待ちしております。



また、先述のNSTカンファレンスには、歯科開業医の先生にも定期的にご参加いただき、意見交換を行っています。

このような取り組みを通して地域医療を担う医療者の皆さんと、栄養に対する意識を高め合っています。今後も地域連携事業を継続し、地域住民の栄養状態の底上げに繋げていくことが、私たち栄養科の使命と考えています。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

7月

科 名	医 師 名	不 在 日	科 名	医 師 名	不 在 日
内 科	桶 家	18日	緩和ケア内科	中 山	4日
	山 田和	29日、30日		服 部	4日
	浅 野	23日	産 婦 人 科	竹 内	14日
外 科	宮下知	4日、17日、18日、25日	麻 酔 科	松 浦	11日
	竹 中	11日	形 成 外 科	稲垣洸	1日、2日、3日、4日
整形外科・ 関節再建外科	重 本	11日、14日	脳 神 経 外 科	山 野	28日
	岩 井	29日、31日	呼吸器・血管外科	湖 東	17日、18日
	岡 本	14日		明 元	17日
皮 膚 科	池 田	25日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	児 島	3日、23日
小 児 科	仲 岡	28日、29日、31日	歯 科 口 腔 外 科	野 口	28日
	和 田拓	25日		石 坂	3日 (AM)、15日、18日
			眼 科	山 田芳	23日、25日、28日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

6月、梅雨の時期となりました。雨が降ると自宅の窓を開け、大きく鼻から息を吸い込む、そして「雨の匂いがする」と子どもが話していたことを思い出します。鼻から嗅いだ匂いは、脳の海馬に伝わり、記憶の情報が引き出されると言われます。

昨年からアロマセラピーの世界に一步踏み出すと、クレオパトラやナポレオンなど偉人たちも身近な匂いを普段から使用していたと知りました。私も好きな匂いを求め、お店で精油を購入。この匂いを嗅ぐとあの時の光景が今でも思い出されます。「この匂い懐かしい」そんな経験、皆さんにもあると思います。忙しい手を止めて、懐かしい匂いを思い出してみるのはいかがでしょうか。

ふれあい地域医療センター 野崎 由美子



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

